2026 年度 ピアノ調律職種技能検定 学科試験問題 2級

真偽問題

正しいものは①、正しくないものは②にマークしなさい。①、②以外を塗りつぶすと誤答になります。

問(1) ドイツ式音名表記では、「A」を半音下げると「As」となる。

問(2) 長3度の補足音程（転回音程）は、短6度である。

問(3) マリンバは、打楽器に分類される。

問(4) ピアノ五重奏曲「鱒(ます)」の作曲者は、シューベルトである。

問(5) メヌエットは、2拍子の舞曲である。

問(6) エラールのダブルエスケープメントアクションの誕生は、竪型ピアノの誕生より遅い。

問(7) 冬は乾燥するので、サビは発生しない。

問(8) 黒鍵の高さは、白鍵から10mm の高さである。

問(9) V プロセスとは、真空（減圧）を利用する工法で、ミュージックワイヤーの製造に用いられる。

問(10) 調律カーブは、大型ピアノのほうが平坦になる傾向がある。

問(11) オクターブ検査で用いられる、長3度：長10度の唸りの回数の関係は、1：1である。

問(12) 低音のオクターブで、短3度・長6度を検査音程に用いた場合、短3度の唸りが多ければ、オクターブは狭い。

問(13) 平均律の長3度の振動数比は、半音係数を4乗すると求められる。

問(14) シントニックコンマは、純正律と平均律の完全5度の差を意味し、2セントである。

問(15) ピタゴラスコンマは、純正 5 度を繰り返すことで生じ、約24セントになる。

問(16) 鍵盤手前を3mm ほど上げて手を離した時バランスホールが緩くて下に落ちる場合、落ちてこないように調整する。

問(17) 鍵盤の深さ（あがき）を変更した場合は、スプーン掛けを調整し直す必要がある。

問(18) グランドピアノのジャックの高さは、レギュレチングスクリューによって調整される。

問(19) ピアノの打弦距離（ハンマーストローク）を調整しても、ハンマー接近（レットオフ）は変わらない。

問(20) 黒鍵を剥がすときは、カッターナイフを使用するとよい。

問(21) センターピンの21番は、直径1.000㎜である。

問(22) ハンマーが打弦後戻らないので、バットプレートスクリューをゆるめて処置した。

問(23) 接着剤のニカワは元来、動物性の原料である。

問(24) 白鍵上面の接着には、接着剤塗布後、一定時間の圧締が必要である。

問(25) 電装部品を搭載したピアノが浸水した際は、電源コードをコンセントから抜いて洗浄し乾燥させる。

多肢択一(4択)問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26)　ロ短調の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、シャープが1つである。
2. 属和音は、ト長調の主和音と同じである。
3. 旋律的短音階、和声的短音階ともに同じ音で構成されている。
4. 平行調は、ニ長調である。

問(27)　音について、正しくないものを1つ選べ。

1. 楽音として感じられる音には、波形に規則性がある。
2. 音色は音波の波形の違いによる。
3. 音の強さは、音波では振幅に現れる。
4. 音叉の音は、波形では矩形波に近い。

問(28)　歌劇「アイーダ」の作曲者を選べ。

1. ウエーバー
2. ヴェルディ
3. ビゼー
4. ロッシーニ

問(29)　ピアノに使用される樹種と使用部品の組み合わせで、正しいものを1つ選べ。

1. 鍵盤材は、スプルースやエゾマツを用いる。
2. カバは、フレンジに用いられる。
3. ブナは、ハンマーシャンクに用いられる。
4. 黒檀は、駒に用いられる。

問(30)　以下のピアノ発達に関する事柄で一番古いものを選べ。

1. ホーキンスの竪型(アップライトピアノ)特許
2. トーマス・ラウドの交叉弦特許
3. チッカーリングの総鉄骨特許
4. エラールのレペティションアクション完成

問(31)　ピアノの手入れ・使用環境について、記述が正しいものを1つ選べ。

1. 白鍵のアクリル材は、アルコールで拭くと割れることがある。
2. 黒鍵のフェノール材は、白鍵用の手入れ剤は使用不可である。
3. オールカバーは、防塵・防湿の両面において有効性がある。
4. ピアノにとって過度の湿気は大敵であるので、湿度が低いほど、ピアノの狂いが少ない。

問(32)　ピアノの鍵盤(通常の88鍵)の基準寸法で、適切でないものを1つ選べ。

1. 白鍵フロント(白鍵前端から黒鍵前端まで)の長さは 48～52mm
2. 黒鍵上面の幅は 9.0～10.5mm
3. 黒鍵の長さは原則として 95mm
4. 鍵盤の総幅(1A～88C)は 1490～1520mm

問(33)　ミュージックワイヤーについて、正しいものを1つ選べ。

1. 素材は、炭素鋼である。
2. 金属疲労を起こさない特性がある。
3. 鍛造で製造する。
4. 一般的なピアノでは、巻線を含めると250本以上の弦が張られている。

問(34)　響板について、正しいものを1つ選べ。

1. 響棒は、木目に平行する方向に取り付けられる。
2. 樹種は、比重の高い木材が用いられる。
3. 響板の厚さは、20mm 程度である。
4. サウンディングボタンは、響板の裏側から駒の位置に取り付ける。

問(35)　セント法について、正しくないものを1つ選べ。

1. 純正の短3度は、316セントである。
2. 1オクターブは、1200セントである。
3. セント法は、メルセンヌにより考案された。
4. セント法は、対数計算に基づくものである。

問(36)　平均律割振について正しいものを1つ選べ。基音は 37A、音域は 33F～45F とする。

1. G-D の完全5度は、純正より広くなる。
2. F-A#の完全4度と A#-F の完全5度の唸りは、同数である。
3. A-C#の長3度の唸りが基準より速い場合、C#は低めにずれていることが想定できる。
4. この音域内では、インハーモニシティの影響はない。

問(37)　弦の振動数について、適切なものを1つ選べ。

1. 弦の振動数は、弦長に比例する。
2. 弦の振動数は、弦長の平方根に比例する。
3. 弦の振動数は、張力の平方根に比例する。
4. 弦の振動数は、張力の 2 乗に比例する。

問(38)　音律に関する記述で正しいものを1つ選べ。

1. ピタゴラスの完全5度を12回繰り返した結果のずれは、48セントになる。
2. 純正の長3度は、平均律の長3度より、16セント狭い。
3. 純正調には、大全音・小全音に区別がある。
4. 平均律音階は、バッハによって理論構築された。

問(39)　共通倍音に関する記述で正しいものを1つ選べ。

1. 長3度の共通倍音は、2音のうち、低い方の音の5倍音になる。
2. 長3度の共通倍音は、2音のうち、低い方の音の4倍音になる。
3. 長3度の共通倍音は、2音のうち、高い方の音の3倍音になる。
4. 長3度の共通倍音は、2音のうち、高い方の音の2倍音になる。

問(40)　アクションの調整で、工程として関連が一番顕著なものを1つ選べ。

1. 鍵盤の深さ(あがき)とから直し(ロストモーション)
2. 鍵盤の深さ(あがき)とハンマーストップ(バックストップ)
3. 鍵盤の高さ(ならし)とハンマー接近(レットオフ)
4. ダンパーペダル調整とダンパー総上げ

問(41)　アップライトピアノ整調について、正しくないものを1つ選べ。

1. ダンパー総上げを通常先に行い、次にスプーン掛かりを行う。
2. 働きが小さいときは、キャプスタンボタンを奥にする。
3. ハンマー接近(レットオフ)を狭くすると、働きは小さくなる。
4. ダンパーペダルは、踏むとすぐにダンパーが動くように調整する。

問(42)　ペダルについて、適切なものを1つ選べ。

1. ダンパーペダル調整の遊びは、ペダルのストロークの1／2が標準である。
2. シフトペダル調整の遊びは、ペダルのストロークの1／3が標準である。
3. ダンパーペダルのストロークエンドは、ペダル突上げ棒の袋ナット(ペダル突上げ棒ヘッド)で決まる。
4. シフトペダルのストロークエンドは、右拍子木の調整ネジの出し入れで決まる。

問(43)　1回の打鍵でハンマーが2度打ちする原因と考えられるものを1つ選べ。

1. 鍵盤の深さ(あがき)が浅い。
2. 打弦距離(ハンマーストローク)が狭い。
3. カラ直し(ロストモーション)が突き上げ状態になっている。
4. キャプスタンボタン前後が奥側になっている。

問(44)　グランドピアノの整調について、正しくないものを1つ選べ。

1. 打弦距離(ハンマーストローク)を狭くすると、ハンマー接近(レットオフ)が広くなる。
2. 黒鍵の深さ(あがき)は、白鍵を参考にして調整される。
3. ハンマー戻り(ドロップ)は、ハンマー接近(レットオフ)と関連する。
4. ハンマーシャンクフレンジのかたさは、レペティションレバースプリングの強さに影響する。

問(45)　タッチについて、正しいものを1つ選べ。

1. アップライトピアノの同音連打の性能は、1秒間に5回前後である。
2. ダンパー止音は、鍵盤の深さを2mm 戻した位置である。
3. 鍵盤の深さ(あがき)を深くすると、ジャックの脱進量は大きくなる。
4. 黒鍵の深さ(あがき)は、働きで合わせると白鍵より深めになる。

問(46)　張弦修理について、適切でないものを1つ選べ。

1. センターピンと弦を切るカッターは、刃の形状が異なる。
2. チューニングピン1巻分の弦の長さは、およそ2cm である。
3. 断線予防には、半番手太い弦にすると効果がある。
4. 玉造りは、ヒッチピンを利用して作ることができる。

問(47)　次の記述で、正しいものを1つ選べ。

1. 弦のサビ予防には、たっぷり防錆油を塗るとよい。
2. 巻線の銅線部への防錆剤塗布は、少量にとどめる。
3. 断線は、弦の屈曲部の金属疲労が主な原因である。
4. 湿度が高い環境下で、響板割れという症状が出る。

問(48)　修理に関して、正しいものを1つ選べ。

1. キャッチャースキンは、両端を接着する。
2. ウイペンヒールクロスの貼り替えは、クロスの全面を接着する。
3. アップライトピアノのバックチェックフェルトは、フェルトの両端を接着する。
4. アップライトピアノのダンパーレバークロスは、クロスの両端を接着する。

問(49)　センターピン交換の方法で、適切でないものを1つ選べ。

1. フレンジが自重で下がる場合は、トルクが低すぎる。
2. センターピンと木部の嵌合が緩い場合は、太めのセンターピンに交換する。
3. 部品取り付け後、走りを確認・修正する。
4. センターピンを交換の際は、潤滑剤を用いて潤滑処理する。

問(50)　消音ピアノの点検と調整の方法で、正しいものを1つ選べ。

1. 消音型のアップライトピアノのハンマー接近(レットオフ)は、生ピアノと同じに調整する
2. 調律時には、必ず消音状態で、ヘッドフォンで電子音の発音とペダルの効果を確認する。
3. 生ピアノの調整以外は、特に指摘がない場合は触らない。
4. 消音装置のセンサーを調整すると、ピアノのタッチが変化する。

2026 年度 ピアノ調律職種技能検定 2級学科試験問題正答

真偽問題

正しいものは①、正しくないものは②にマークしなさい。①、②以外を塗りつぶすと誤答になります。

2級	
問題 No.	正答
問(1)	1
問(2)	1
問(3)	1
問(4)	1
問(5)	2
問(6)	1
問(7)	2
問(8)	2
問(9)	2
問(10)	1
問(11)	1
問(12)	1
問(13)	1

問題 No.	正答
問(14)	2
問(15)	1
問(16)	2
問(17)	2
問(18)	2
問(19)	1
問(20)	2
問(21)	2
問(22)	2
問(23)	1
問(24)	1
問(25)	1

多肢択一(4択)問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

2級	
問題 No.	正答
問(26)	4
問(27)	4
問(28)	2
問(29)	1
問(30)	1
問(31)	1
問(32)	4
問(33)	1
問(34)	4
問(35)	3
問(36)	2
問(37)	3
問(38)	3

問題 No.	正答
問(39)	1
問(40)	2
問(41)	4
問(42)	4
問(43)	1
問(44)	1
問(45)	3
問(46)	3
問(47)	3
問(48)	4
問(49)	4
問(50)	2